

令和元年11月

各位

北九州市保健福祉局長 高松 浩文

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、
標記の調査を実施することといたしました。この調査は、市民の皆様が、住み慣れた地
域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策の推進に役立てるため
のものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理
解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*** 4ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに
令和元年12月20日(金)までにご返送(投函)いただきますよう、お願い申し上げます。**

*調査の対象となられた方は、令和元年年9月1日現在、北九州市内にお住まいの
40歳～64歳の方から、無作為に抽出させていただきました。

*お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用することは
一切ございません。

◇同封の書類 ・調査票（若年者用） 1部
 ・返信用封筒 1枚

《この調査に関するお問合せ先》

※この調査は北九州市が下記に委託しています。

株式会社 サーベイ リサーチ センター 担当：中村・江崎

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目6番26号

電話番号：092-411-8822

北九州市保健福祉局長寿社会対策課（高齢者等実態調査担当）

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 電話番号：582-2407

北九州市高齢者等実態調査

《令和元年11月調査》

若年者用

*この調査票は、40歳～65歳未満(令和元年9月1日現在)の方を対象としています。

*調査票の記入にあたって

①記入にあたっては、黒または青インクのペンまたボールペンを使用してください。

②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

あなた様ご自身について、以下の質問にご回答をお願いします。

【基本属性】

問1 あなたの性別についてお聞かせください。

いずれか一つに○。

- 1 男 2 女 3 無回答

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

- 1 40～44歳 2 45歳～49歳
3 50～54歳 4 55歳～59歳
5 60～64歳

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

- 1 門司区 2 小倉北区 3 小倉南区 4 若松区
5 八幡東区 6 八幡西区 7 戸畑区

問4 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

- 1 配偶者(あるいはパートナー)
2 親(配偶者の親を含む。)
3 子(子の配偶者を含む。)
4 孫(孫の配偶者を含む。)
5 その他(親族以外も含む。)
6 同居者はいない

問5 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、3と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅にお住まいか民間の住宅にお住まいかについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

- 1 一戸建て(借家)
2 一戸建て(持ち家)
3 アパート、マンション等の共同住宅(借家) → { 1 市営住宅などの公営住宅
2 民間の住宅
4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家)
5 その他()

いずれか一つに○。

【健康・医療】

問6 あなたの健康状態は、いかがですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1 よい | 2 まあよい |
| 3 普通 | 4 あまりよくない |
| 5 よくない | |
| 6 現在は健康であるが、将来的な健康状態に不安を感じている | |

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

☆「かかりつけ歯科医」とは☆

普段から、歯科治療や歯科健診、予防処置、歯みがき指導等を受けたり、歯や口の健康について気軽に相談したりできる歯医者さんのことです。

問9 あなた自身や身近な家族(親や配偶者など)の病気の名前や飲んでいる薬の情報、また、利用している介護サービスなどの医療・介護情報について、救急搬送の際や入院した際、新しく病院にかかった際に説明することができますか。

いずれか一つに○。

- 1 自分自身も家族についても、間違いなく説明できる
- 2 自分自身は説明できるが、家族については不安がある
- 3 自分自身も家族についても、説明にやや不安がある
- 4 自分自身も家族についても、説明できない

問10 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで治療することを希望されますか。

- 1 最期まで自宅で療養したい
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()⇒問11へ

副問1へ

副問1 【問10で「2、3、4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防】

☆「介護予防」とは☆

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送れるよう、健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことで、介護が必要な状態になることを防いだり、もし介護が必要になってもそれ以上悪化しないように早期の予防策を打つことです。そのためには**フレイル(加齢に伴い体力や社会性が衰えた状態のこと。適切な対応で元に戻ることが可能)**を予防することが重要です。

問11 健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある ⇒ **副問1・2・3**へ

2 特にない ⇒ **副問4**へ

副問1 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に、取り組んだきっかけは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 テレビの健康番組を見て
- 2 書籍(新聞・雑誌を含む)を読んで
- 3 友人・知人に誘われて
- 4 講座・講演会に参加して
- 5 啓発チラシやパンフレットを見て
- 6 ホームページを見て
- 7 病気や体力低下がきっかけとなって
- 8 できるだけ長く健康に過ごしたいから
- 9 その他()

副問2 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 休養や睡眠を十分にとる
- 2 規則正しい生活を送る
- 3 栄養バランスの取れた食事をとる
- 4 定期的に健康診断を受ける
- 5 酒やたばこを控える
- 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける
- 7 口や歯の手入れをこまめに行う
- 8 よく噛んで食べる
- 9 できるだけ外出をして、友人・知人との交流機会をもつ
- 10 気持ちをなるべく明るくもつ
- 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する
- 12 その他()

【認知症】

問15 認知症は誰でもかかりうる病気であることを知っていますか。

いずれか一つに○。

1 知っている

2 知らない

問16 「認知症」と聞いて、最初に思うことはどのようなことですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていれば、予防できるのかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで心配である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか心配である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか心配である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか心配である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他()
- 10 特に何も思わない

問17 認知症への理解が進むよう現在、認知症の人(本人)が、ご自身の体験談や思いなどを講演会などで発信する活動が広がりつつあります。このような活動を知っていますか。

いずれか一つに○。

1 知っている

2 知らない

問18 仮に、あなたのご家族が、認知症になった場合に、あなたはどのようなことを心配だと思えますか。また、現在、認知症のご家族がいる方はどのようなことを心配だと感じていますか

あてはまるものすべてに○。

- 1 身体的・精神的な負担が大きいのではないか
- 2 自分自身が介護できなくなったらどうしていけばよいか
- 3 経済的に苦しくなるのではないか
- 4 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- 5 自分(あなた)や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- 6 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- 7 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- 8 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- 9 その他()

問19 認知症の取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での安全な生活を支える取組
- 5 入所できる施設の充実
- 6 認知症の正しい理解を広め、認知症のよき理解者を増やす取組
- 7 認知症の本人や家族の意見を聞く取組
- 8 介護する家族同士の交流会など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 9 認知症カフェの充実など、認知症の人やその家族の居場所づくりの取組
- 10 その他()

【地域包括支援センター】

問20 「地域包括支援センター」を知っていますか。

いずれか一つに○。

1 はい

2 いいえ

「地域包括支援センター」とは

地域包括支援センターは 高齢者のための保健・医療・福祉・介護に関する「総合相談窓口」です。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者の幅広い相談に応じます。北九州市では、平成18年4月から区役所や出張所に設置しています。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)といった専門員が介護に関する相談に応じるほか、介護に関する支援、高齢者の権利擁護・虐待防止に関する取組、地域全体を包括的に支援していくためのネットワーク拠点としての活動を行っています。

平日の夜間や休日などの緊急時は、電話による相談対応も行っています。

【介護保険制度】

問21 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う

問22 あなたは、将来、ご自身が介護が必要になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい
- 4 その他()

問23 あなたが家族(親・夫・妻など)の介護を行うこととなったとき、どのような介護を希望しますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活させたい
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活させたい
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活させたい
- 4 その他()

【暮らし向き】

問24 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 その他()

【高齢者に対する福祉施策】

問25 現在、介護のために介護者が仕事を辞めることや、介護と育児を同時に担うなど、介護者を取り巻く環境も変化しています。介護者の負担を軽くするために、どのような支援が必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子育てや介護のために一定期間休める仕組み
- 2 入社・退社時間を自分の都合で変えられる柔軟な労働制度(フレックスタイム制)
- 3 テレワークや在宅勤務等の導入
- 4 保育施設等の整備
- 5 介護施設等の整備
- 6 子育て・介護に関する相談窓口の一本化
- 7 その他()

問26 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問27 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ここから先は、介護と子育ての両方をされている方へお伺いします。

問28 あなたはふだん、子育てと介護(ダブルケア)に対して負担を感じていますか。

あてはまるもの一つに○。

- 1 非常に負担を感じる
- 2 やや負担を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり負担を感じない
- 5 全く負担を感じない

問29 ダブルケアが始まる前と後の就業状況に変化はありましたか。

あてはまるものすべてに○。

- | | | |
|-----------------|----------|--------|
| 1 仕事を辞めた | } | ⇒ 副問2へ |
| 2 業務量や労働時間を減らした | | |
| 3 変わらない | ⇒ 副問1・2へ | |
| 4 業務量や労働時間を増やした | } | ⇒ 副問2へ |
| 5 仕事を始めた | | |
| 6 もともと働いていない | } | ⇒ 問30へ |
| 7 その他() | | |

副問1 【問29で「3 変わらない」と答えた方のみにお尋ねします。】

就業状況が変わらなかった理由はなんですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子どもが育児サービス(保育所・放課後児童クラブ等)を利用している
- 2 被介護者をデイサービス等に通所させている
- 3 民間企業・団体等の支援(家事代行サービス等)を利用している
- 4 勤め先の制度(テレワーク等の柔軟な働き方を可能にする仕組み)がある
- 5 子育てや介護との両立が可能な勤務条件(労働時間等)で働くことができる
- 6 家族(配偶者や親族等)の支援がある
- 7 居住する地域の支援(コミュニティの子育てシェア等)の支援がある
- 8 仕事を行うことに対し、被介護者の理解がある
- 9 周囲(家族等)が、子育てや介護よりも仕事を優先すべきと考えている
- 10 勤め先の人員体制や業務量を考えると、周囲に迷惑がかかる
- 11 業務量や労働時間等を減らすことにより給料等が減額になると困る
- 12 その他()

副問2 【問29で「1 仕事を辞めた 2 業務量や労働時間を減らした 3 変わらない 4 業務量や労働時間を増やした 5 仕事を始めた」と答えた方のみにお尋ねします。】

今後どのような働き方(働かない場合も含めて)をしたいと考えていますか。

いずれか一つに○。

- 1 今後も同じ仕事(職種・職場)で働き続けたい
- 2 労働時間が短いなど、より負担の軽い仕事(職種・職場)に変えたい
- 3 給料が高いなど、より経済的条件のよい仕事(職種・職場)に変えたい
- 4 仕事を辞めたい

これで質問事項は終わりです。

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

12月20日(金)までに投函してください。